

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第23週の発生動向

トピックス

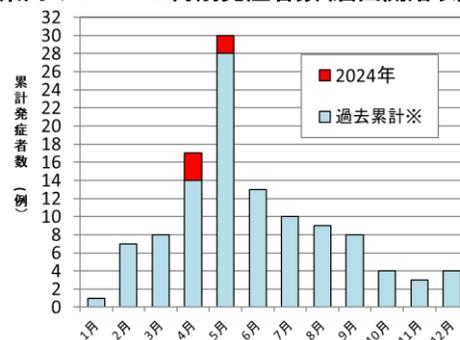
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は70歳代の男性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計114例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	43	30	6

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2023年まで

全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例。
- 5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、梅毒 4 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	50歳代	女	—	水様性下痢、O血清群不明(VT2)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、下痢、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	40歳代	男	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス 小脳症状、視覚異常、記憶障害、 異常感覚
		宮崎市	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	梅毒	都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		日南	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹、丘疹性梅毒疹
		高鍋	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳
	百日咳	日向	5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、 スタッカート、嘔吐
中央		5~9歳	男	—	持続する咳	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,148人(定点当たり29.0)で、前週比108%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した疾患は咽頭結膜熱、手足口病だった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は312人(5.4)で、前週比163%と増加した。日南(10.6)、高千穂(9.5)、延岡(7.0)、中央(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約3割だった。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

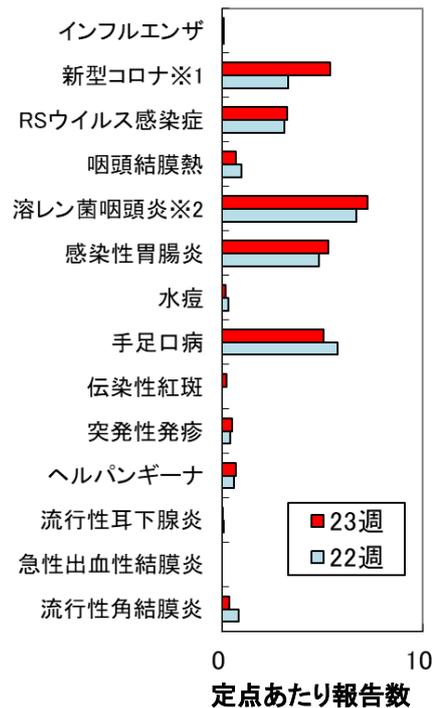
報告数は260人(7.2)で、前週比108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約4.5倍であった。日南(11.3)、宮崎市(10.5)、延岡(7.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は4歳から8歳が全体の約6割を占めた。

【手足口病】

報告数は182人(5.1)で、前週比88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約2倍であった。延岡(12.5)、小林(12.0)、日向(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

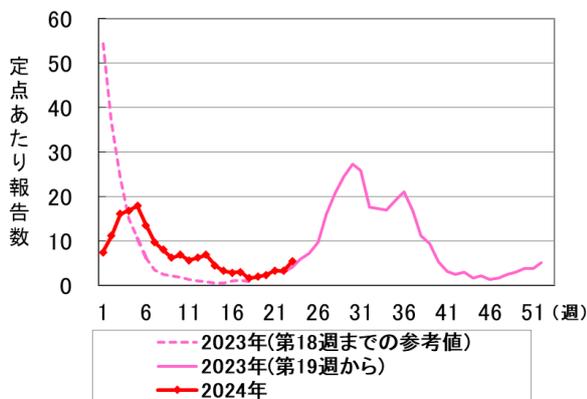
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

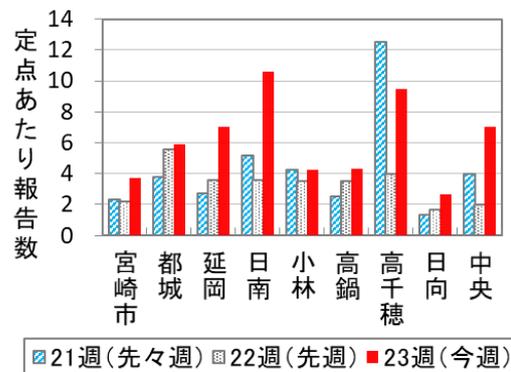


■ 23週 □ 22週
 定点あたり報告数
 ※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

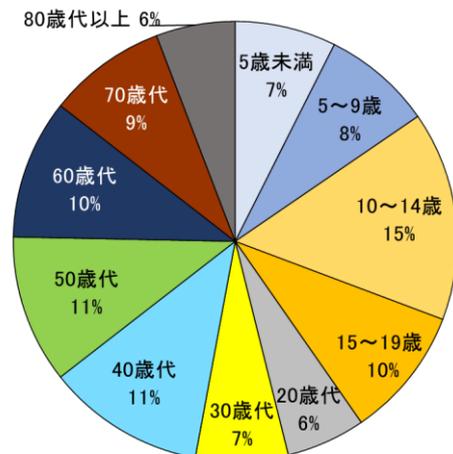


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

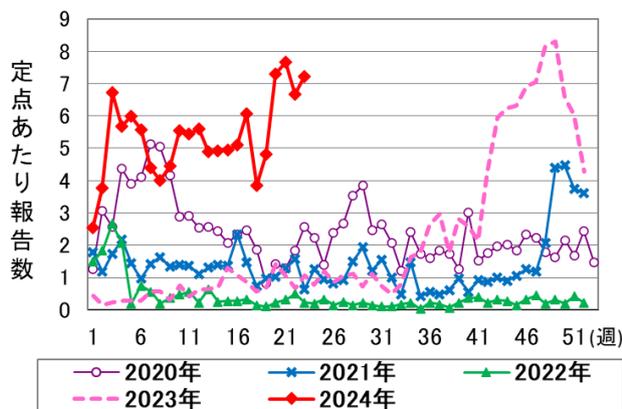


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

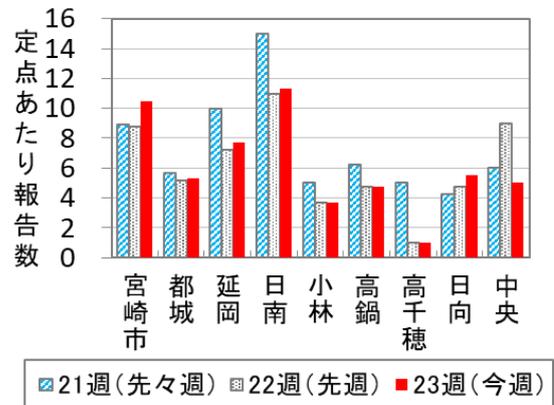
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第23週)



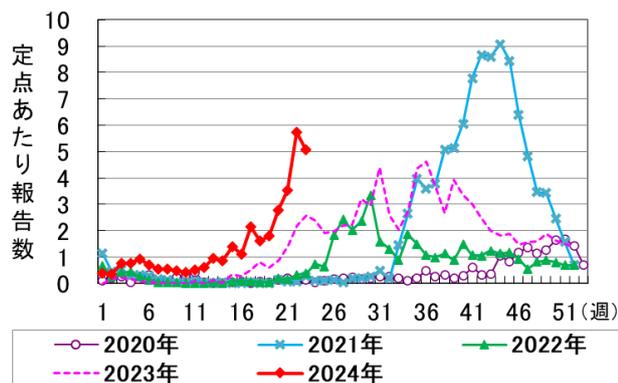
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



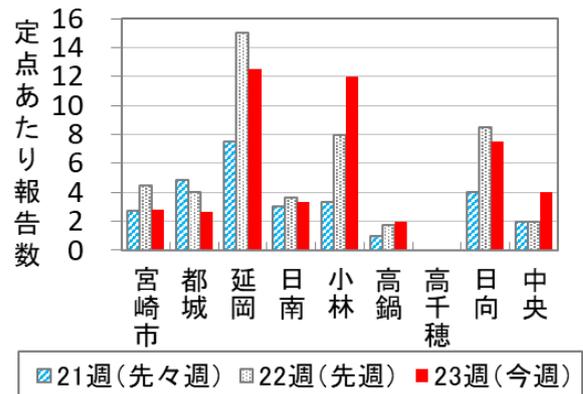
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から1例報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.5)
都城	なし
延岡	手足口病(12.5)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.3) 伝染性紅斑熱(2.0)
小林	手足口病(12.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(7.5)
中央	水痘(1.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

流行注意報レベル基準値

- ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年6月10日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O26:H11 VT1)	5~9歳	男	2024.05.21	水様性下痢、発熱、その他(咳嗽)	便	2024.05.29

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhino virus	0~4歳	女	2024.02.26	急性肝炎、嘔気、嘔吐、黄疸、肝機能障害	咽頭ぬぐい液	2024.05.31
Human herpes virus 7	20歳代	男	2024.03.28	麻疹疑い、40.4℃、頭痛、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、気管支炎、胃腸炎、嘔気、嘔吐	咽頭ぬぐい液	2024.05.28
Influenza virus B(Victoria lineage)	5~9歳	女	2024.04.11	インフルエンザB型、39.7℃	咽頭ぬぐい液	2024.06.05
Coxsackievirus A6	5~9歳	女	2024.04.16	手足口病疑い、37.8~39.2℃、口内炎	咽頭ぬぐい液	2024.06.10
Parainfluenza virus 3	0~4歳	女	2024.04.22	急性気管支炎、39.0℃、咽頭炎	鼻汁	2024.06.10
Cytomegalovirus	0~4歳	男	2024.04.30	手足口病、39.9℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2024.06.10
Parainfluenza virus 1	0~4歳	男	2024.04.30	咽頭炎、38.5℃、結膜炎	鼻汁	2024.06.03

○手足口病疑いの患者から、Coxsackievirus A6 及び Cytomegalovirus が分離、検出された。2024年に手足口病や不明の発疹症で搬入された検体からは、Coxsackievirus A6 が4件、Cytomegalovirus が1件分離・検出されている。

第22週（2024年5月27日～6月2日）に県内の手足口病が流行警報レベル開始基準値を超えており、今後大きな流行が継続することが予測されているため、手洗い等の感染予防対策の励行が重要である。

🇯🇵 全国 2024 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	267 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	48 例				
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	1 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	5 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	5 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	13 例	マラリア	1 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	59 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	28 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	58 例	水痘(入院例)	12 例	梅毒	188 例
	播種性クリプトコックス症	6 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	33 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいだった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 17,401 人(3.5)で前週比 105%と増加した。沖縄県(19.7)、鹿児島県(7.1)、北海道(5.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 15,208 人(4.9)で前週比 96%とほぼ横ばいだった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約 4.1 倍であった。鳥取県(10.8)、山形県(10.6)、北海道(9.3)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第23週(06月03日～06月09日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3	4						4			
	定点当り	0.05	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	191	312	59	59	49	53	17	26	19	16	14
	定点当り	3.29	5.38	3.69	5.90	7.00	10.60	4.25	4.33	9.50	2.67	7.00
RSウイルス感染症	報告数	111	116	52	11	22	11		8		10	2
	定点当り	3.08	3.22	5.20	1.83	5.50	3.67	0.00	2.00	0.00	2.50	2.00
咽頭結膜熱	報告数	34	24	12	3		2		1	1	4	1
	定点当り	0.94	0.67	1.20	0.50	0.00	0.67	0.00	0.25	1.00	1.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	240	260	105	32	31	34	11	19	1	22	5
	定点当り	6.67	7.22	10.50	5.33	7.75	11.33	3.67	4.75	1.00	5.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	173	190	65	34	7	19	6	28		14	17
	定点当り	4.81	5.28	6.50	5.67	1.75	6.33	2.00	7.00	0.00	3.50	17.00
水痘	報告数	11	6	3	2							1
	定点当り	0.31	0.17	0.30	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	207	182	28	16	50	10	36	8		30	4
	定点当り	5.75	5.06	2.80	2.67	12.50	3.33	12.00	2.00	0.00	7.50	4.00
伝染性紅斑	報告数		8	2			6					
	定点当り	0.00	0.22	0.20	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	17	11		2		1	1		2	
	定点当り	0.42	0.47	1.10	0.00	0.50	0.00	0.33	0.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	21	25	7	3	13	1	1				
	定点当り	0.58	0.69	0.70	0.50	3.25	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	2	2								
	定点当り	0.83	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～23週 保健所受理分)

2類感染症	結核	40例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	1例	百日咳	37例(3)
			重症熱性血小板減少症候群	5例(1)
			レジオネラ症	5例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例(1)
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	78例(4)

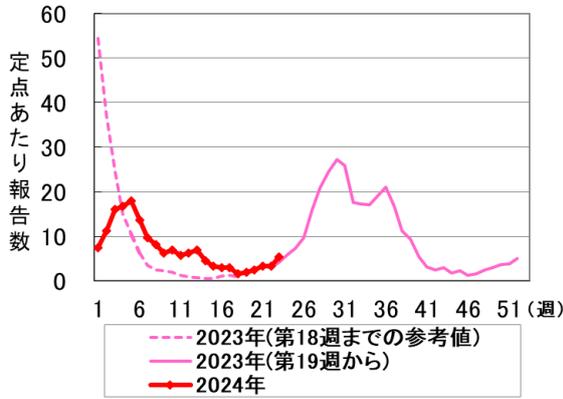
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 23 週、全国第 22 週（再掲）》

□ 県内第 23 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

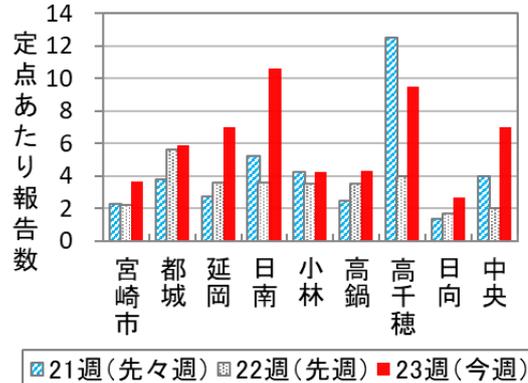
6月3日～6月9日までの1週間で312人(5.4)の報告があった。前週比163%と増加し、日南(10.6)、高千穂(9.5)、延岡(7.0)、中央(7.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

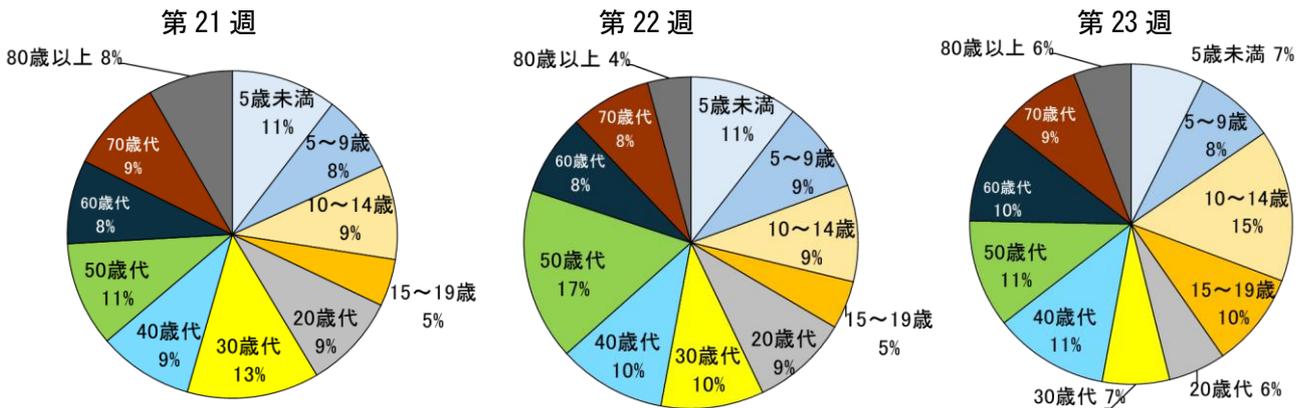


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

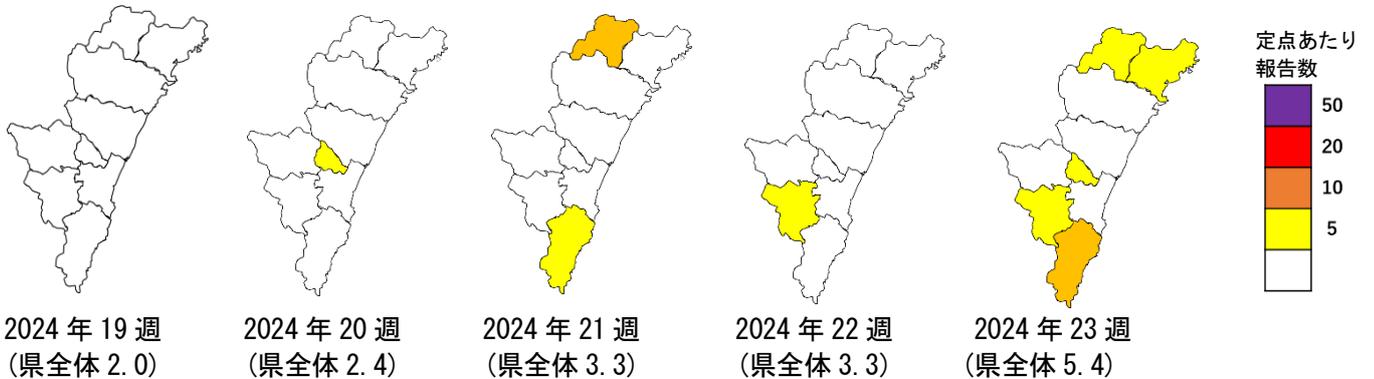
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第19週～2024年第23週



□ 全国第 22 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

5月27日～6月2日までの1週間で17,401人(3.5)の報告があった。前週比105%と増加し、沖縄県(19.7)、鹿児島県(7.1)、北海道(5.4)からの報告が多かった。年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。